

地域づくりの展開

指定特定事業所に所属する主任相談支援専門員としての
実践事例

～個別ケースから地域課題の抽出・地域づくりへ～



NPO法人 Sapyuie
東 美奈子



自己紹介

東美奈子（あずまみなこ）

山口県周南市出身
13年ぶりに地元に戻って活動中

人が好き・花が好き・海が好き
季節の行事を大切にしています

厚生労働省 相談支援従事者指導者養成研修
（コア検討委員）

厚生労働省 精神障害者にも対応した
地域包括ケアシステム構築支援事業
（広域アドバイザー）

特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会
（理事）

一般社団法人 地域で暮らそうネットワーク
（理事）

野中ケアマネジメント研究会（理事）
日本精神科看護協会（副会長）

本事例を展開した地域の様子

人口 3,895人

(現在は広域合併により人口17万人の市)

高齢化率 40%

専門医療機関までは車で45分かかる

自然の豊かな山紫水明の地域
ゆったりとした時間が流れている
癒される地域



午前中の検診会場で出た噂話は午後には一番はずれの地域の人
知っているような地域のつながりは強い地域
→仲間意識も強いが排除する意識も強い(▽):

伝え方のポイント

1. 展開事例の背景を知ってもらう
聴講者がイメージできるように
象徴的な写真を利用
(その町の自慢など)
2. 地域特性を伝える

一人の当事者Aさんの
「誰かと話したい」
「さみしい」
から始まった地域支援
活動

(家族からも地域からも孤立状態からの
脱却)

【伝え方のポイント】

事例のテーマを提示

どのようなことを中心に話すのか？

個別の課題からなので、当事者の言葉や思いから

→目指す方向性も提示

視点→いかに地域の
一員として
暮らせるか

相談支援専門員が何を考えているかを提示
何を目的に展開しようとしているのか？

家族関係の調整

- ・ 夫・姑・息子との関係調整
- 個別支援として実施
- 関係性の再構築に1年

…(2か月の関わりで姑が寄り添ってくれた)

夫や姑と相談支援専門員の関係づくり
「ありがとう」の連鎖
「よかったこと話」のメッセージ

視点

→ 家族の中の孤立の解消は安定につながる

【伝え方のポイント】

個別課題に対する支援と
地域づくりは両輪として動く



まずは、個別支援として
実践したことを明らかにしておく

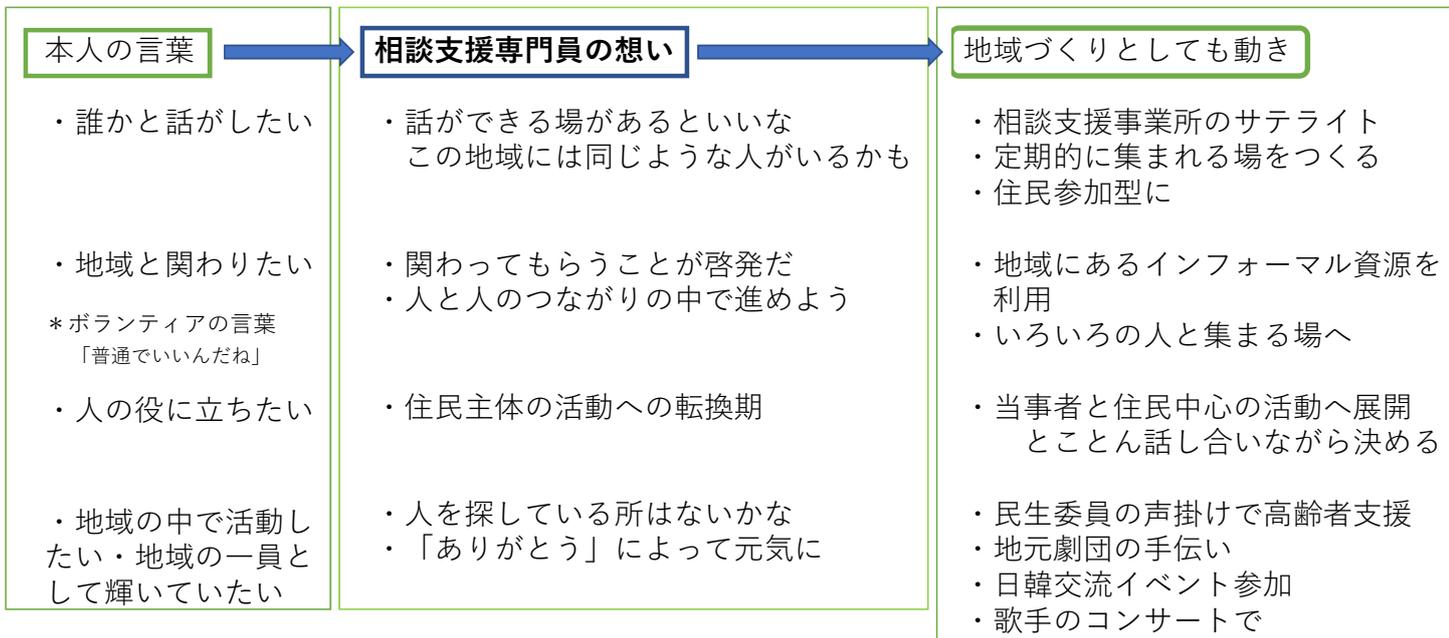
本事例においては
コミュニケーションスキルを
向上させるための工夫をしたこと
が必要だった→このことが地域に
おける仲間づくりにもつながって
いくことを意識化できるように
伝える



【伝え方のポイント】

地域づくりの実際を具体的に伝える

～本人と話し合いながら進めていくことが基本＝本人の言葉から受け止めて展開したこと～





街の画家とのコラボ作品
(地元の特産品を利用)
今は市の建物に展示

高齢者生産活動センター ともコラボ



山代和紙を使って 作りました

【協力してくれた人たち】

学校の先生
高齢者活動センター
地元の画家
児童民生委員
食生活推進委員
元小学校教諭
商店街の人々
医療・保健・福祉・行政関係者

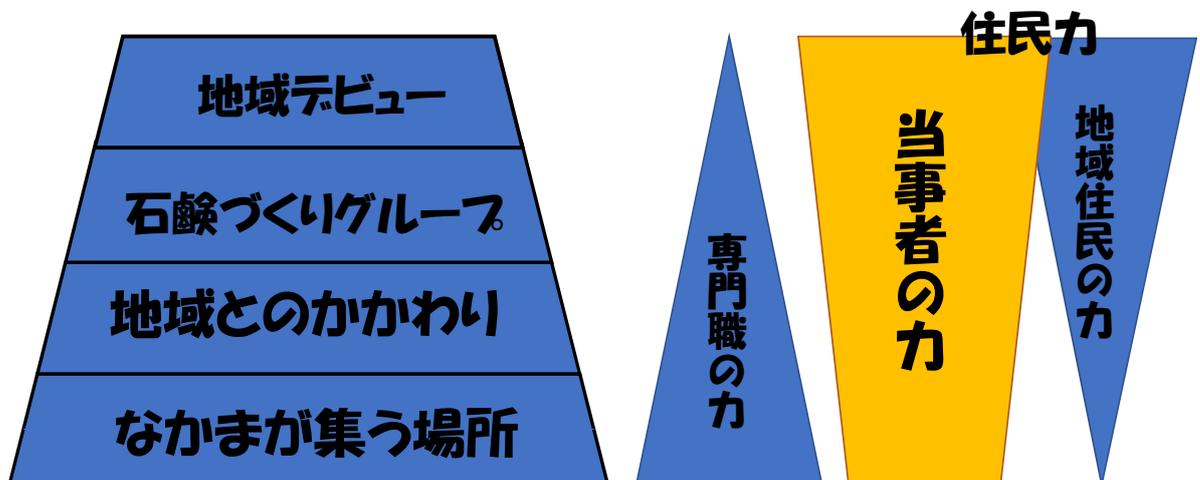


【伝え方のポイント】

展開してきた活動を般化する作業を行う

➡相手に伝えるときには自分もできるかもやってみたくて我ごとにも感じてもらうことが重要

地域支援活動の4つのステップ



【伝え方のポイント】

地域づくりを実践してきた中で大切にしてきたことや重要だと気付いたことをまとめる

当事者の力や地域の力を信じること

- 当事者が輝ける場面を見つける
- 地域には包容力がある
- 地域には住民同士のつながりがある
- 地域の特性を活かす
- 地域の人が社会資源
- 人と人のつながりでつながっていく
- 予算がなくても何とかなる

1. ●ひとつひとつに対して、どのような場面が考えられるか？
今まで見過ごしてきたことなどをシェアする演習を入れてもよいかも
2. 改めて自分が活動している地域等のことを考える時間がもてるように工夫する
3. できれば同じ圏域や地域の仲間と考えることができたらよいのではないかと思うので、協議会の話題に取り入れる工夫をする



実践報告を聞いた後で、「そういえば〇〇さんは」と思い浮かべられたり、自分が実践してみる気持ちになれることがとても大切です！

最後は一言メッセージ

地域の中で“自分らしく”生きる

住みたい場所で

自分プロデュースの暮らしを実現

ご清聴ありがとうございました